



進路だより

「私立高等学校受験の心得」を再確認！



Vol.57 2022.1.18

テスト本番に強くなる30の方法 Vol.4

テスト本番に強くなる方法 (13)

「試験後の休み時間は、友人と答え合わせではなく、次の試験勉強をする」。

本番のテストでは、すべての試験が終了するまで、友人と答え合わせをしない。

学期末試験や模擬試験では、1日にいくつも試験を受けるのが通例です。朝から夜までずっと試験ばかりという日さえあります。

試験が終わった直後、よく見かける光景があります。「テスト、難しかったね。最初の問題の答え、何にした？」友人との答え合わせです。やはり問題を解き終わった後は正解が気になり、休み時間に友人と答え合わせをしたくなります。一生懸命に試験勉強をしたテストほど、気持ちが高ぶって答えが気になります。

しかし、1日にいくつもの教科の試験を受ける場合、一連の試験がすべて終了するまで答え合わせはしないほうが良い。間違っていれば、精神的に動揺し、次の試験に影響を及ぼすからです。悪い結果は、なぜか長く引きずります。動揺や不安が広がると、次の試験に集中しにくくなります。

「出来が悪いかもしれない。どうしよう……」

どうしようと思っても、どうしようもありません。今さら変更しようがないです。それより気持ちをさっと切り替えることです。受け終わった試験のことは忘れ、数十分後に受ける次の試験に向けて気持ちを集中させましょう。休み時間のうちに少しでも試験勉強すれば、間に合うことが何か見つかるかもしれません。休み時間に友人との答え合わせをするくらいなら、次の試験の勉強をするほうがよほど有益です。友人と試験のことで話し合ったり答え合わせをしたりするのは、一連の試験をすべて受け終わってからです。教科書を開いて、気になる問題の答えを確認してもいいでしょう。模擬試験の場合は、試験後すぐ回答が配られるはずですから、そのまま復習もスムーズにできるはず。そのタイミングで間違いに気づき、動揺する分にはいい効果を生み出します。

「知識の穴が見つかった」本試験までに埋めるべき穴を見つけ、勉強へのやる気へと変えましょう。その勢いで復習するのです。

テスト本番に強くなる方法 (14)

「試験ができなかった言い訳を、睡眠不足のせいにしないうようにする。」

試験の結果が悪い理由を、睡眠不足のせいにしないう。

「よく寝られなくて睡眠不足だった。試験が悪いのはそのせいだ」とか「緊張して夜は寝られなかった。本番は睡眠不足で頭が回らなかった」とか・・・試験ができなかった言い訳を睡眠不足のせいにする人がいます。試験前は強い緊張が伴い、十分な睡眠が取れない場合があります。寝よう寝ようと思って逆に寝られなくなった、という経験をした人も多いはず。

しかし「睡眠不足」と「結果の善しあし」は別問題です。関係ありません。眠れないほど緊張するなら、試験中も緊張で頭が冴えるはず。どんなに睡眠不足でも、試験中は頭が冴えます。徹夜で試験勉強した人が眠くてテスト中に眠ってしまった、という話は聞いたことがありません。徹夜で勉強した人も睡眠不足ですが、試験前の緊張で頭が冴えています。眠れないほど緊張しているなら、試験中も緊張して眠気は飛んでいきます。その人は、自分が勉強不足ということ認めたくないの、睡眠不足を原因にして逃げようとしているだけです。どんなに試験前に、睡眠不足になっても大きな問題にはなりません。緊張が伴う試験中は、どんなに眠くても、頭が冴えるのです。



テスト本番に強くなる方法（15）

「空欄になっているところはすべて埋める」という意識を持つ。

問題を解き始める前の、大きな問題がある。

学生時代、答案用紙に名前を書き忘れていた人がいました。問題はきちんと回答できているのに、名前だけ書き忘れていた状態です。それも一度や二度に限らず、そうした光景を目にしました。かくいう私も、実は何度かあります。優しい先生だったので0点にはならずすみましたが、ひやっとした経験でした。先生はひどく怒っていました。もしこれが入試試験なら、笑えません。確実に0点です。自分にも経験があるので、名前を書き忘れる心理はよくわかります。「早く問題を解き始めたい！」という気持ちが強いあまり、注意が問題に向けてしまいます。問題文のところだけ注意が向き、名前を書く欄が視界に入っていない。笑ってしまいますが、切実な悩みでした。



私がこれを克服した方法は、とても簡単な方法でした。「空欄になっているところはすべて埋める」という意識に変えればいい。その後、名前を飛ばしてしまうことは完全になくなりました。たわいない方法ですが、効果があります。答案用紙の全体を見渡したとき、四角で空欄になっているところがあると気づけます。テストを解き終わって全体の見直しをしているときに、実は名前を書き忘れていたことも気づけるのです。

テスト本番に強くなる方法（16）

「部分点がもらえる問題で、悪あがきをする。」

部分点が取れる問題でした悪あがきで、合否が決まることもある。

「部分点」がもらえる問題形式があります。国語・数学・歴史など、記述形式で回答する場合によく見られます。

「主人公が、なぜ家に戻ったのか、心情を述べよ」

「円周率が3以上であることを証明せよ」

「豊臣秀吉が太閤検地を実施した理由を述べよ」

回答の記述がどれだけ正しく詳細まで書かれているかによって、もらえる点数が決まります。完全な正答ではないが、初歩的な理解はできていると採点者が感じたとき、ある程度点がもらえます。

これは大切なことです。わからなくても、わからないなりに悪あがきをすることです。本当は見当のつかない問題でも「もしかしたら」と思って書いた内容で部分点がもらえることは十分に考えられます。できるだけ長い文章を書いて「もう少しで回答できる」という「そぶり」を見せるのも、実力のうちです。悪あがきによってもらった部分点で、合否が決まることもあるのです。

本日、私立入試事前指導を実施しました！

10月の先輩講話を皮切りに、11月からの面接練習・朝勉の実施、そして三者面談・第3回進路希望調査等と、着実に受験に向かって進んできました。そして本日1月18日（火）6校時、私立高等学校入試事前指導を実施しました。いよいよ1月22日（土）から始まる私立高等学校の入試に向けての注意点を再確認しました。「当日緊張するんじゃないか」とドキドキしているかもしれませんが、緊張するということは多岐にわたって気を配っている証拠！これまでの実績に自信を持って私立受験に立ち向かっていこう！

